



面接対策講座

11月22日 講師: 福德大輝



本日の目次

- 応募から採用までの流れ
- 面接の流れ
- 1次、2次面接の見られてるポイント
- よくある質問
- 障害者雇用でよくある質問
- 質疑応答



応募から採用までの流れ

応募 ➡ 書類選考 ➡ 1次面接 ➡ 2次面接 ➡ 内定

備考: 適性検査が入ったり、3次まであったりします。



だいたい面接の流れ

- ①簡単なアイスブレイク
- ②書類を見ながらキャリアの質問
- ③志望理由や退職の話
- ④入社後の話や将来の話
- ⑤勤務体系の質問
- ⑥逆質問



面接のポイント①

- 1次面接は受かる人より、落とす人を探す
- 社会人としてもマナー
- コミュニケーション
- 風土に合っているか
- 基準を満たしているか
- 人事担当、外注先



面接のポイント②

- ・二次面接で終わりになる場合がある
- ・配属先の部長やマネージャークラスが面接官をする傾向
- ・こういう人材がほしい、こういう人と一緒に働きたい、という思いをもとに、より現場目線でスキルや経験を確認される。
- ・志望度、マッチ度をより確認される
- ・担当部署責任者、人事責任者、役員



面接のポイント③

- ・3次面接は最終
- ・理念やビジョンにマッチしているか
- ・面接官担当、役員、代表

【1次面接】

- ・自己紹介をお願いします
- ・自己PRをお願いします
- ・これまでの職歴を教えてください
- ・転職しようと思った理由
- ・今の会社の不満なところ
- ・志望理由を教えてください
- ・入社後挑戦したいこと
- ・前職で何をしていたのか
- ・前職での立ち位置
- ・転職で実現したいこと
- ・希望年収

【2次面接】

- ・10年後のキャリアプランについて
- ・自分の強みを教えてください
- ・あなたが入社して変わること
- ・入社後挑戦してみたいこと
- ・実績を出せた要因を教えてください

- ・仕事で大切にしていること
- ・なぜこの業界を選んだのですか
- ・失敗体験を教えてください
- ・前職での役割を教えてください
- ・当社のどこに魅力を感じますか
- ・休日の過ごし方を教えてください

【役員面接】

- ・入社後やりたいことはありますか
- ・改めて自己PRをお願いします
- ・会社の魅力に感じること
- ・入社後あなたが貢献できること
- ・入社後のキャリアプランについて

- ・あなたのキャリア形成に関して
- ・当社への志望度はどのくらいか
- ・前職ではなんて言われていたか
- ・他の選考状況を教えてください
- ・将来のビジョンを教えてください
- ・弊社の事業はどう思いますか

【最終面接】

- ・転職活動の状況
- ・当社への志望度
- ・当社への不安はあるか
- ・当社でやりたいこと
- ・どのような能力をお持ちですか
- ・内定が出た場合どうしますか
- ・大変なときに乗り越えた経験
- ・同様他社ではなく何故弊社なのか
- ・仕事のやりがいについて
- ・何かききたいことはありますか
- ・最後にお伝えしたいこと



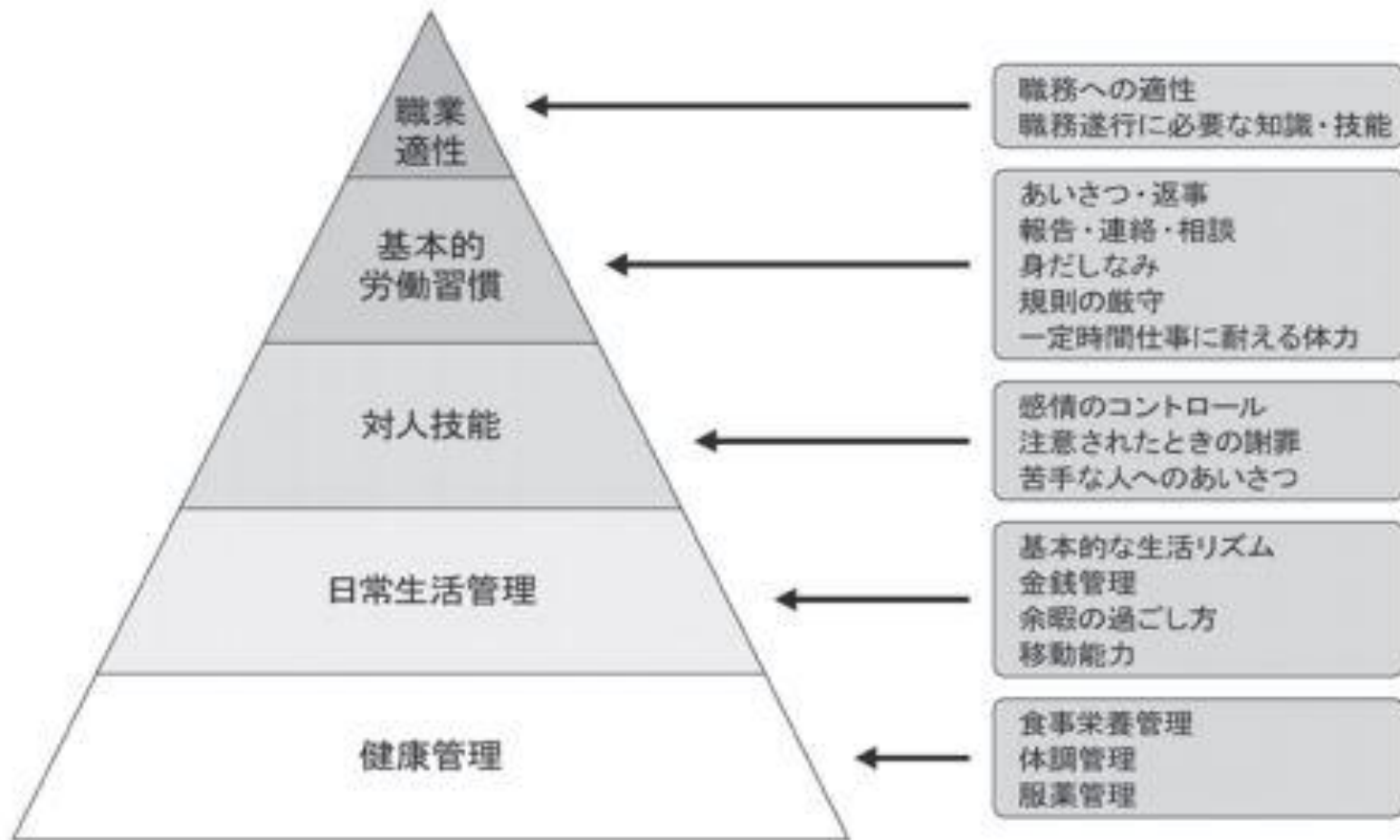
障がい者雇用チェックポイント

- ・就職に対する意欲
- ・就労準備
- ・**障がい状況**
- ・業務内容の理解
- ・必要な合理的配慮
- ・緊急時の対応

障害者雇用で成功している企業が面接で確認している点

項目	内容
職務遂行関連	<ul style="list-style-type: none">・就労意欲、希望する仕事内容・自分のできること、できないこと・会社でのコミュニケーション、社会性 など
障害関係	<ul style="list-style-type: none">・障害の状況・通院状況、服薬の状況・配慮して欲しい点 など
生活関連	<ul style="list-style-type: none">・自分の体調とその管理方法・基本的な社会性のスキル（規則正しい生活、自力での通勤、報告・連絡・相談等）・支援機関のサポート（ない場合もあり） など

職業準備性のピラミッド





障害者雇用よくある質問

Q.あなたの障害について教えてください。

会社側としては、この人を雇う際にはどのような配慮が必要かを知りたいのです。
単に障害名ではなく、ご自身の特性やどのような症状があるのかを伝える事が大切です。

Q.障害者手帳を取得したのはいつですか？ その経緯は？

Q.障害のきっかけはなんですか？

うつ病など、後天的な障害の場合はそのきっかけを聞かれます。
また、症状のトリガーとなることや、症状についても聞かれます。
前職を障害により退職された方であれば、退職理由と合わせて話せるでしょう。

Q.障がいの為に苦手な事は何ですか？

出来ないこと、難しいこと、助けがいることなどを伝えましょう。
またそれらに対し、ご自身の工夫や対処方法を伝えられれば、前向きな印象を持たれるでしょう。

Q.会社側が配慮が必要なことを教えて下さい。

具体的にどう配慮すれば良いかを聞かれます。

Q.通院頻度・投薬を教えてください。

障害者雇用では病院へ通っていることや、薬を服用していることを当然として受け入れ、配慮して くださる企業が多いです。



障害者雇用よくある質問

■現在の体調を探る質問■

Q.主治医の先生は働くことをどのように仰ってますか？

就職活動ができる状態かどうか、医師の許可が出ているのか、医師とコミュニケーションが取れているかを知りたい質問。

Q.体調が安定したのはいつ頃からですか？

就職活動をしているのですから、症状は安定しているという前提で見られます。

更に「なぜ安定して思うようになったのですか？」などと深掘りされることもあります。

Q.就労移行支援へはいつから通所していますか？

Q.どれぐらいの頻度で通われていますか？

Q.現在はどうに通所していますか？（交通機関や、家を出る時間など）

週何日、1日何時間通っているか、休んだ時の理由、何に取り組んできたかなど、詳細まで聞かれることもあり。

Q.普段は何をしていますか？ 趣味を教えてください。

Q.ストレス解消はどのようにされていますか？

今後、仕事や私生活でストレスがたまった時に、自分自身で改善させる手段を持っているかを聞くのが主な目的。



障害者雇用よくある質問

■これからを見据えての確認■

現在の体調を探る質問と似ていますが、これからの事を具体的に聞かれる場合が多いです。

Q.満員電車での電車通勤は可能ですか？

Q.フルタイム(1日8時間)の就労は可能ですか？

Q.体調を崩しやすい時や、崩した時の対応

■その他■

Q.他にどのような福祉サービスを利用されてますか？

Q.いつ頃から就職活動を始めましたか？

Q.なぜ障害者枠での就労を希望されているのですか？



質疑応答